

臨床研究に関する情報公開

令和3年9月2日

【研究の概要】

1. 研究課題名	気胸手術を施行した患者の診療情報を用いた術後気胸再発に関する後ろ向き観察研究
2. 研究内容・目的	<p>自然気胸の手術において術後再発気胸は大きな問題であり、再発率の軽減を図るべくブラ切除断端に医療用被覆材を使用するなど様々な方法が施行されています。しかし医療用被覆材の使用法、特にサイズについては定まっておらず、施設毎に異なる使用法がなされています。当院ではブラ切除後の切除断端への被覆としてポリグルコール酸シートを使用しており、そのサイズによる再発予防効果および術後再発部位について検討します。</p> <p>この研究により気胸術後の再発率を軽減する因子が明らかになり、本邦における術式の定型化、ひいては患者様の QOL の改善に貢献することが期待されます。</p>
3. 対象	2006年3月から2020年3月までに神戸赤十字病院で胸腔鏡下ブラ切除を施行した原発性自然気胸症例(除外基準; 1) 41歳以上, 2) 再手術, 3) 開胸移行, 4) 1年未満の経過観察) 213例を対象として、術後気胸再発に関する後ろ向き研究を行い再発率軽減に寄与した因子を調査します。
4. 研究期間	倫理審査委員会承認後～2022年3月31日まで行う予定です。
5. 研究方法	上記対象患者様の周術期データと術後再発について後方視的に検討します。
6. 個人情報について	<p>本研究で収集する被験者の個人情報を含むデータは、電子カルテからエクセルを使用したデータベースに個人情報を含まない情報を転記します。そのため患者様の情報を直ちに識別することができないよう管理しています。</p> <p>また、この研究の成果は学会で公表される予定ですが、その場合も患者様の個人情報は匿名化されていますので、第三者に患者様の個人情報が明らかになることはありません。</p>

7. その他	<p>本研究へのデータ提供により生じる個人の利益はありません。また、カルテからのデータ収集が主であるため患者様への不利益等も特にありません。対象の患者様には外来以外にお電話で再発状況について確認させて頂くことがあります。</p> <p>この研究にデータが使用されることについて取り止めを希望される場合、もしくは研究内容についてご質問等ありましたら下記問い合わせ窓口の担当者までご連絡下さい。</p> <p>研究責任者：神戸赤十字病院 呼吸器外科 酒井秀都 研究協力者：神戸大学医学部附属病院 呼吸器外科 小濱拓也</p>
--------	---

【当院での研究責任者 問い合わせ先】

1. 研究責任者名	酒井 秀都
2. 所属診療科	呼吸器外科

神戸赤十字病院

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-1

TEL : 078-231-6006 FAX : 078-241-7053